

新馬戦プレイバック(11月4日・10R)
第16回 兼六園ジュニアカップ

激戦を制した転入馬アロマベール



直線入り口まで馬群

を引っ張った②ベルノトライに並びかける⑥ハッピールミエール。処が内で我慢していた④アロマベールが外に切り返すと矢のような伸び脚で先頭に並びかける。外から⑨エムザックサンダーも。



金沢の移籍戦が重賞・兼六園JC戦歴から期待感を持つでの挑戦も、初コースの不安が、全ては平瀬Jの完璧な捌きで杞憂に終わった！



前走の認定オパール賞では、2歳の頂点に立った。門別からの転入馬との比較で戦歴は見劣ったが、こは無様はてきめ立場。負けて強し！



門別デビュー馬が幅を利かす現状。今回も戦歴上位の馬は門別からの転入馬。もとより苦戦は覚悟の上だったが...。3着と力は示した格好

第16回 兼六園ジュニアカップ

11月4日 金沢 10R 1500m:不良

馬番	馬名	所属	体重	性	斤量	騎手	着差	タイム	人気上がり
4	アロマベール	227	♂	55	平瀬城	1360	③	37.9	
6	ハッピールミエール	449	牝	54	畑中信	1362	④	38.4	
9	エムザックサンダー	443	♂	55	吉原寛	1368	①	38.7	
8	イッセイフウビ	434	♂	55	米倉知	1371	⑦	38.6	
2	ベルノトライ	434	牝	54	尾島徹	1372	⑨	39.5	
7	ビシャモンテン	430	♂	55	池田敦	1375	⑩	38.7	
1	ファーストユウゼン	447	牝	54	東川公	1378	⑧	39.6	
11	エムティサラ	471	牝	54	青柳正	1380	②	40.0	
10	グローリーキング	455	♂	55	田中学	1383	⑤	39.8	
12	ウィンザカップ	427	牝	54	葛山晃	1389	⑪	40.4	
5	オトコギ	451	♂	55	吉田晃	1393	⑥	41.5	
3	イヴジャンテマリー	-	牝	54	藤田弘	取り消し		熱発のため	

ハロン	12.8	上り	50.7	38.3	平均ペース
S前	2,5,6,(9,11),4,10,1,12,8,7				⑦出遅れ
2角	2,5,6,4,9,11,(1,10),12,7,8				①稍遅れ
3角	(2,5,6),11,(4,9,10),(12,8),1,7				
4角	(2,6),4,9,(5,8,11),(12,7),1,10				
馬単	④-⑥	2610円			3連単 ④⑥⑨ 6190円

今シーズンから転入初戦から重賞参戦が可能になった2歳戦。12月のヤングチャンピオン(2歳重賞の頂点)へ向け、門別の2歳シーズンが終わろうとしているこの時期。例年にも増して門別からの移籍馬が多くなった。前走認定勝ちのハッピールミエール(金田厩舎)、プリンセスCを快勝したエムティサラ(鈴木正厩舎)も門別出身。地元デビュー3連勝したエムザックサンダー(加藤義厩舎)も前走で、前出2頭に後塵を拝した。直前までこの3頭に争いに思えた今回の兼六園JCだが、さらに2頭が門別から移籍初戦で臨んできた。アロマベール(金田厩舎)とグローリーキング(中川雅厩舎)の2頭である。はたして勝つのはこの5頭の何れか? 1頭が取り消して11頭が1500mの距離を争う。内の2枠から飛び出した②ベルノトライ(高橋俊厩舎)も楽なペースは刻めない。前半のハイラップが祟り、4角回るとペースダウン。巧く立ち回った⑥ハッピールミエール・畑中Jが先頭へ。この時点で勝ちを意識しただろう。ところが外から一気に差を詰めてくる馬がいた。道中内々で溜めていた同僚のアロマベール・平瀬Jだった。オーバーペースでは最後に仕掛けた馬が有利なのは当然の成り行き。1.36.0の好タイムで転入初戦の重賞を快勝。いちやく12月のヤングチャンピオンの主役候補に躍り出た。